



「西荻窪駅での列車停止警報装置故障」について 第 2 回意見交換会を開催!

7月15日に発生した西荻窪駅での列車停止故障の事象について、西荻窪駅、中野車掌区、中野電車区の仲間が集まり、10月12日に意見交換会を開催しました。

それぞれの職場から事象に対しての問題点や対策など組合員の声を紹介しながら議論してきました。

この事象に対して東京地本は、東京支社に対して団体交渉を申し入れて約2ヶ月が経過しますが未だに団体交渉は開催されていません。

また9月26日、高崎線の吹上駅でも列車停止故障の事象が発生しています。

職場では、列車停止故障の取り扱いとはいったい何なのか?不安でわからないまま日々乗務をしている組合員や未加入者の現状も紹介されています。

安全は大前提と会社は言っていますが、事象から3ヶ月が経過しても会社は未だにこの事象を放置しています。

会社は、早急に団体交渉を開催して安全問題に向き合うべきです。

私達、輸送サービス労組は職場の組合員や未加入者の意見をもとに議論し、具体的な対策を会社に提言していきます。



**この事象をめぐる輸送サービス労組から
安全とルールづくりの議論をつくらそう!**